



【計数基準の変遷】	
A型地震	2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
BH型地震	
初期	2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上
変更	2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

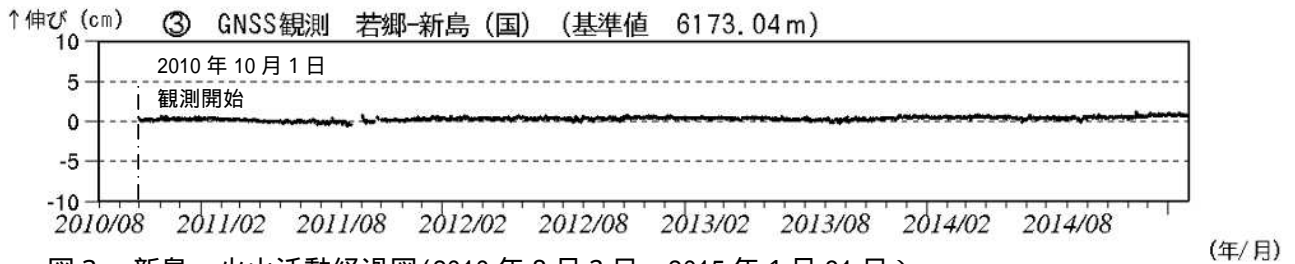
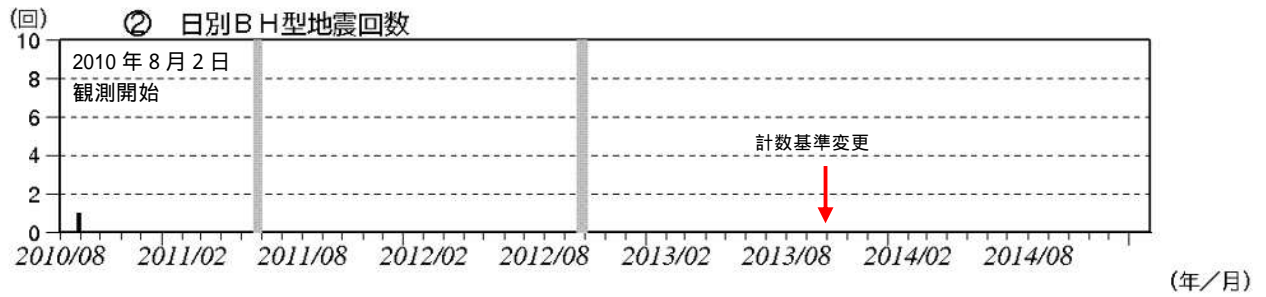
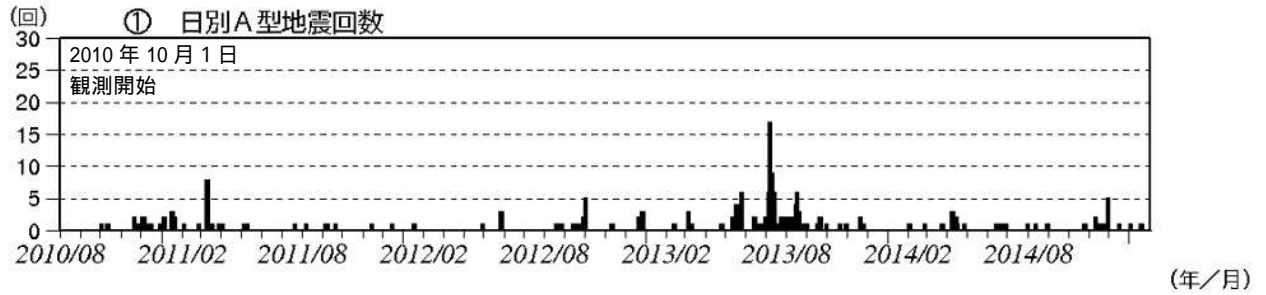


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2015年1月31日)

新島周辺の日別地震回数

- ・ 図の灰色部分は機器障害のため欠測。

GNSS連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

- ・ は図1のGNSS基線に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測期間を示します。

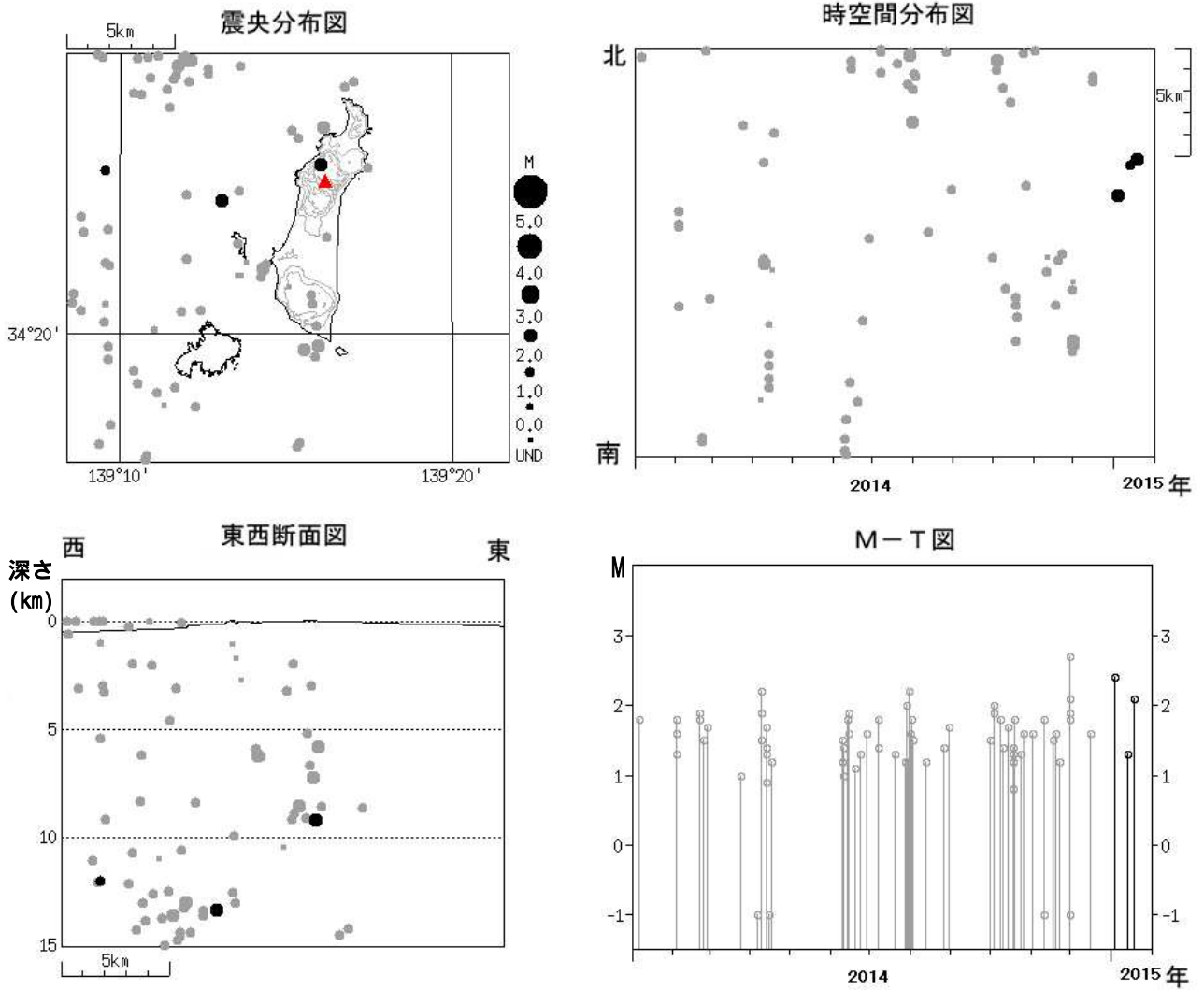


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2014年1月1日~2015年1月31日)

：2014年1月1日~2014年12月31日      ：2015年1月1日~1月31日

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

計数対象(瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内)以外の地震が含まれるため、図3 - の日別A型地震回数とは異なります。